

洛陽六阿彌陀巡拜

下車バス停

六阿彌陀功德について

一番 東山 真如堂阿彌陀如来

錦林車庫前
又は
真如堂前西
へ一〇〇米

この六阿彌陀巡拜の由来は、
木食正禪上人（一六八七—
七六三、第四番安祥院の開基
にして同寺に墓塔あり）が阿

二番 東山 永観堂
禪林寺 阿彌陀如来

永観堂前東
へ二〇〇米
又は東天王
町南へ
三〇〇米

彌陀仏の靈感をうけ発願され

三番 東山 清水寺
阿彌陀堂 阿彌陀如来

清水道又は
五条坂東へ
四〇〇米

たもので、この功德日まいり
を三年三ヶ月おこたらず行ず

四番 五条坂 安祥院
日限 木食寺 阿彌陀如来

五条坂東へ
一〇〇米

れば、この身は無病息災、家
運隆昌、諸願成就（学業成就・
交通安全）、その功德をうくる

五番 新京極 安養寺阿彌陀如来

四条河原町
北西
二〇〇米

ことまことに高く大なりとお
しえられ、また有縁無縁の精

六番 新京極 誓願寺阿彌陀如来

河原町三条
南西
一五〇米

が身の往生安樂がかなえられ
ること必定と説かれている。

功德日（毎年かわることなし）

道しるべ（交通機関）

- 正月十五日 仏を六万體つくるにむかう
- 二月八日 五重の塔を一万たつるにむかう
- 二月十四日 七堂がらんをたつるにむかう
- 四月十五日 九万六千人の僧に施しするにむかう
- 五月十八日 父母を千度供養するにむかう
- 六月十九日 風呂を一万度たくにむかう
- 七月十四日 塔姿を八万四千たつるにむかう
- 八月十五日 万燈を八万度ともすにむかう
- 九月十八日 一切経を八万度よむにむかう
- 十月八日 三千人の僧に衣服を一万度施にむかう
- 十一月廿四日 施行を六万度するにむかう
- 十二月廿四日 法華経を三万部書写するにむかう
- 春秋彼岸 こがねの仏を八万四千體造るにむかう

